

中間市 市勢要覧

2017

位置と面積

東経130度42分41秒 北緯33度48分49秒
面積15.96km² 東西6.98km 南北4.45km

地勢

中間市は、福岡県の北部に位置し、北九州市と遠賀郡、鞍手郡に接しています。市の中央を南北に一級河川の遠賀川が流れていることから、市域は通称「川東(かわひがし)」と「川西(かわにし)」に分かれています。北九州市側となる川東には、なだらかな丘陵を背景に閑静な住宅地と商業地などを形成し、市の人口の9割が集中しています。川西の広々とした平野部には、美しくのどかな田園風景が広がり、市の振興方針による工場団地が立地しています。

市章



中間(ナカマ)の3字を組み合わせて図案化したもので、下部の「ナ」がナ、上部の「カ」がカ、中央がマを表します。

ロゴマーク



中間市の「中」をモチーフに、本市を縦断する遠賀川と、自然豊かな町並みの緑、若い力の未来への活力を印象付けるオレンジを配色したロゴマークです。平成29年3月に公募によって選ばれました。

市の木



クス

クログネモチ

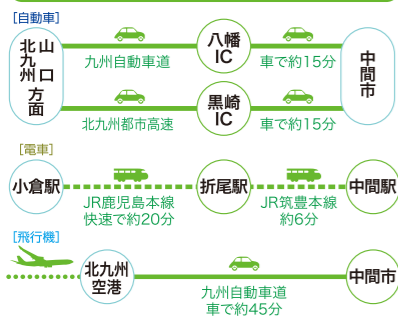
市の花



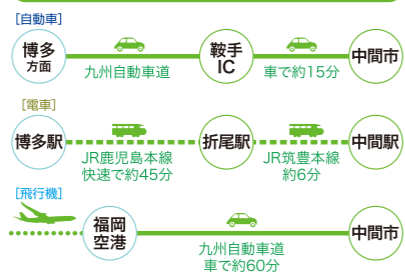
コスモス

パンジー

Access Guide 山口・北九州方面からお越しの場合



Access Guide 福岡方面からお越しの場合



小倉にも博多にもラクラク、アクセス。



●JRの駅が2つ

筑豊本線・中間駅より折尾駅まで約6分。
筑前垣生駅より折尾駅まで約9分。

●筑豊電気鉄道の駅が4つ

通谷駅より黒崎駅前駅まで約16分。
希望が丘高校前駅より筑豊直方駅まで約14分。

●西鉄高速バスで天神へ

中間市内から福岡市天神までを、
約80分で結ぶ便利な直行便が1日7往復運行。

●高速道路

中間市役所から九州自動車道
鞍手ICまで約15分。八幡ICまで約15分。
中間市役所から北九州都市高速道路
黒崎ICまで約15分。

中間市
NAKAMA CITY



中間市PR大使
大野いとさん

中間市の魅力を
紹介します!



世界遺産

～明治日本の産業革命遺産～ 世界遺産 遠賀川水源地ポンプ室



世界遺産
「遠賀川水源地ポンプ室」をめぐる
ガイドを実施しています

日本の産業近代化を支えた八幡製鐵所へ遠賀川の水を送る施設として1910年に操業し、今も稼働し続けているレンガ造りの建物です。イギリスから輸入したポンプやボイラーなど、当時の最新鋭技術が採用されました。

筑豊電気鉄道「希望が丘高校前駅」から徒歩約10分
JR「筑前垣生駅」から徒歩約20分
お問い合わせ 世界遺産推進室 TEL:093-245-4665

ちょうどいい生活宣言都市 なかま

上底井野コース

遠賀川西側の自然や文化財が多く残る地域をめぐるコース。日常の忙しさを忘れさせてくれるのどかな田園風景に出会えます。
総距離：約5.4km
所要時間：約120分

なかま フットパス

イギリスを発祥とする「フットパス」。地域に昔からある自然や風景を楽しみながら歩くこと（foot）ができる小径（path）を意味しています。中間市では四季折々の景色や地域の人とのふれあいが楽しめるコースを設けています。
お問い合わせ
世界遺産推進室観光政策係（地域交流センター内）
TEL:093-245-4665

土手ノ内コース

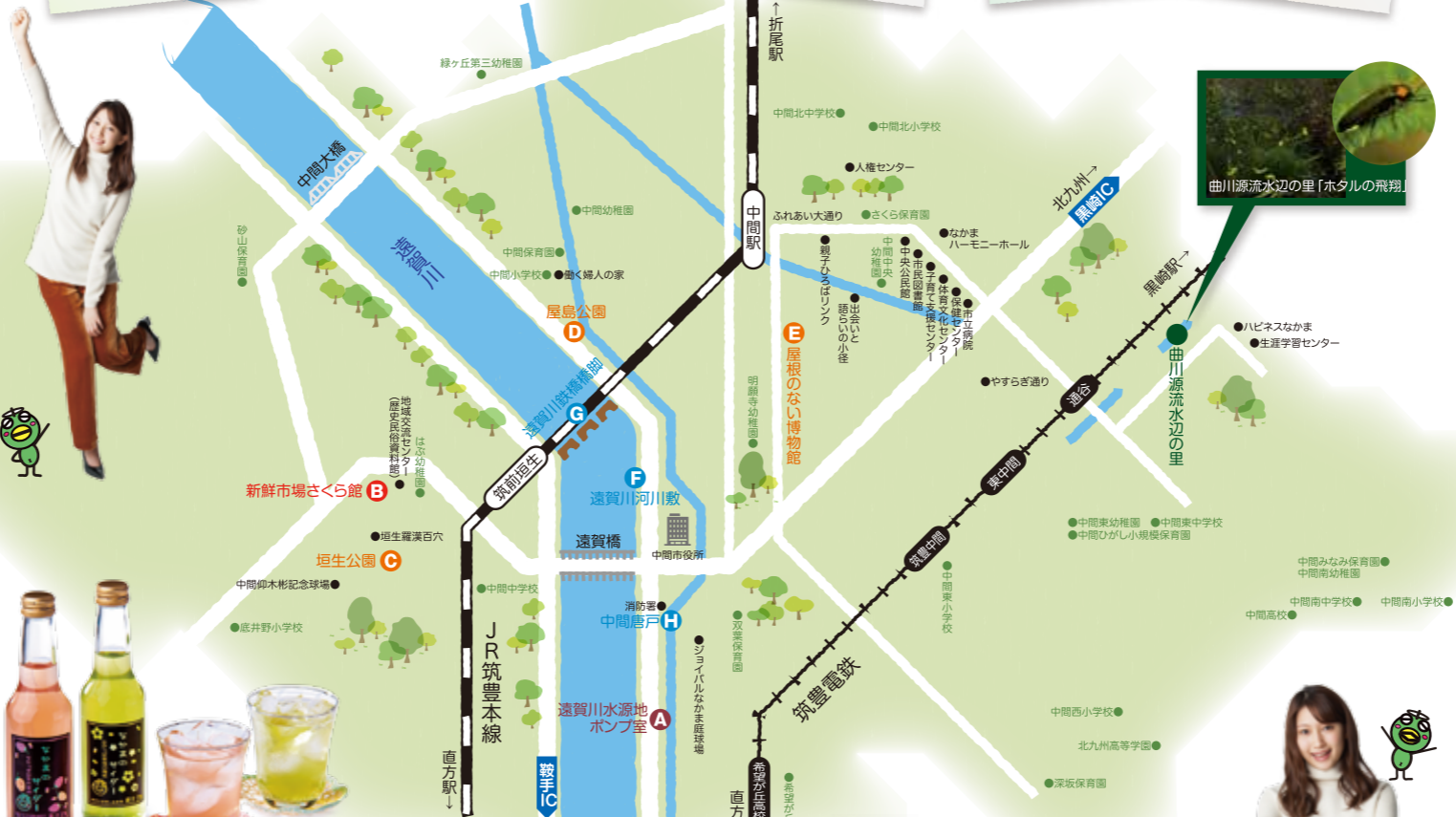
世界遺産「遠賀川水源地ポンプ室」をはじめ、「遠賀堀川」など、石炭の歴史に触れることができます。
総距離：約4km
所要時間：約90分

まちなかコース

炭坑夫たちで賑わった飲み屋街からボタ山、石炭層まで、かつて炭鉱で栄えたまちの面影に想いを馳せながら楽しめます。
総距離：約3.6km
所要時間：約80分

中底井野コース

遠賀川西側の麦畑や田んぼの穏やかな景色の中を歩くコース。北海道開拓の祖「月形潔」ゆかりの地も訪れます。
総距離：約3.3km
所要時間：約75分



市長挨拶

中間市長 福田 健次

4km四方に約43,000人が住む中間市は、昭和33年の市制施行以来、「炭鉱の街」から「快適な住宅都市」へと発展を遂げてきました。
今、全国の地方自治体が人口減少化を打開すべく地方創生に取り組んでいます。中間市も例外ではなく、真のコンパクトシティを目指して魅力の発信に全力を注いでいます。
これからも中間市は、「全力発信」をモットーに、市内外の皆様に「まだまだ眠っている中間市の魅力」を伝えてまいります。この市勢要覧が「全力発信」の一助となり、皆様にお役立ただけであれば幸いです。

遠賀川

中間市民が思い描くふるさとの風景といえばやはり市の中心をゆったりと流れる遠賀川。豊かな自然が四季を感じさせてくれます。



遠賀川河川敷



中間市の中心を流れる遠賀川の河川敷は、市民にとって馴染み深い場所。川沿いには遊歩道が整備され、ウォーキングやランニング、サイクリングを楽しむ場所としても人気です。
JR「筑前垣生駅」から徒歩約10分

遠賀川鉄橋橋脚



JR筑豊本線の筑前垣生駅～中間駅間に残る、レンガ積み橋脚。中間市に鉄道が開通した1891（明治24）年に造られたもので、映画「ALWAYS 三丁目の夕日」のロケ地にもなりました。
JR「中間駅」から徒歩約15分

中間唐戸



遠賀川から堀川へと水を引き込む、堀川の始点です。細長い板を水門の溝に入れ、その枚数によって水量を調節するユニークなつくりで、県指定文化財としても人気です。
中間市役所から徒歩約5分

まつり イベント

明るくて人懐っこいなかま市民は、賑やかなイベントが大好き。このほかにもダンスコンテストや枝豆祭りなど市民参加型の個性的なまつりやイベントがいっぱいです。



筑前中間さくら祭

市内最大の公園である垣生公園が約1,000本の桜に彩られます。期間中は提灯によるライトアップが行われ、昼夜それぞれの美しい桜を愛でることができます。



仰木彬記念 中学校野球大会

中間市出身でプロ野球の近鉄オリックスで監督を務めた仰木彬さんの功績をたたえる軟式野球大会です。

筑前中間川まつり

8月15日／市役所前遠賀川河川敷
遠賀川で毎年8月15日に行われる灯籠流し。先祖の霊をなぐさめ、母なる川・遠賀川に感謝の祈りをささげる中間市の伝統行事です。



なかまのサイダー



ほのぼの味噌



豚もっちゃん



パン工房 向日葵 赤煉瓦クッキー



なかま ブランド

中間市でしか出会えない自慢の「なかまブランド」地元の味と人のあたたかさを感ずる商品が揃っています。



やきとり鳥花 なかっぱからあげ



仲間園 さをりコースター



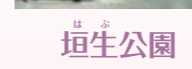
垣生公園



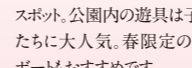
屋島公園



屋根のない博物館



いこいの場



毎日のお散歩や休日に出かける公園など何気ない日常の中にも自然を感じられるのが中間市の魅力のひとつです。

JR「筑前垣生駅」から徒歩約5分
JR「中間駅」から徒歩約10分
JR「中間駅」から徒歩約1分

なかっぱのLINEスタンプ
使ってめん!

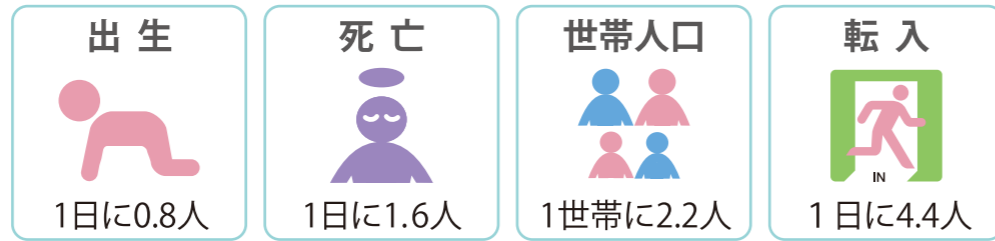


なかっぱのLINEスタンプ
使ってめん!
なかっぱのLINEスタンプ
使ってめん!
なかっぱのLINEスタンプ
使ってめん!

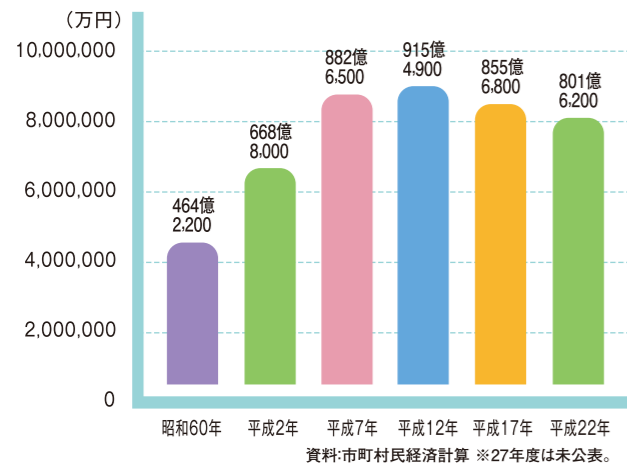
中間市の統計

統計からみた市民の暮らし(平成27年)

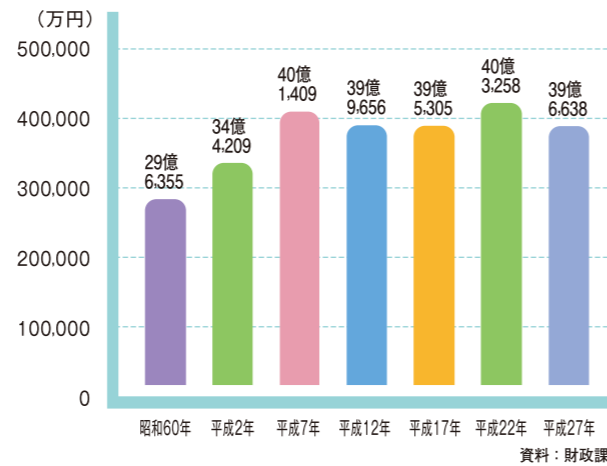
人口と世帯は平成27年の国勢調査を基準としています。



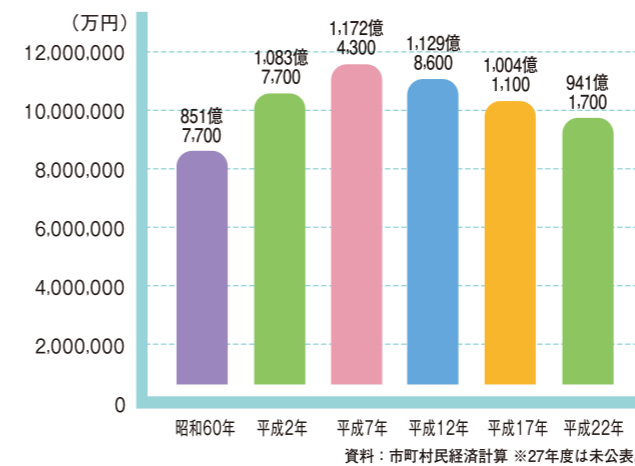
市内総生産の推移



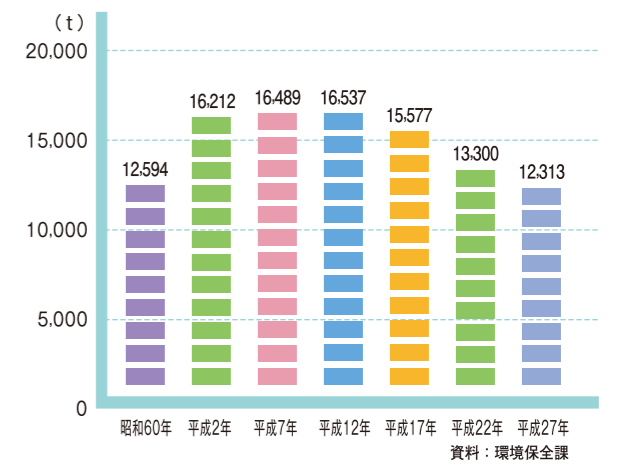
市税収入額の推移



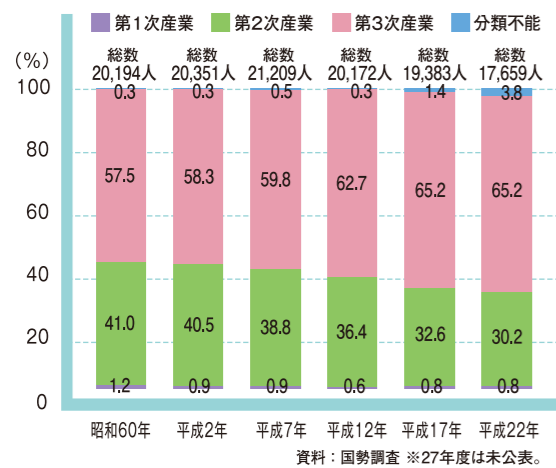
市民所得総額の推移



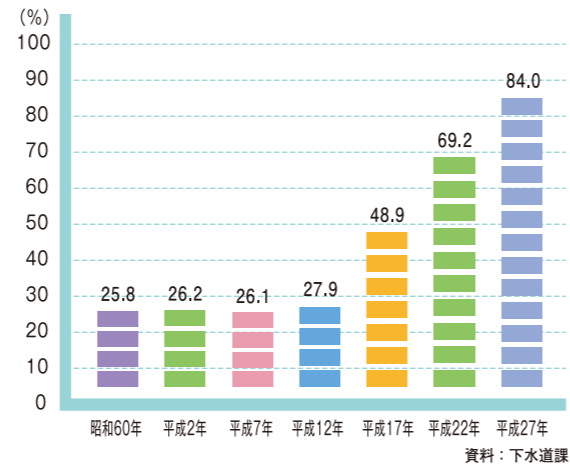
ごみ収集量の推移



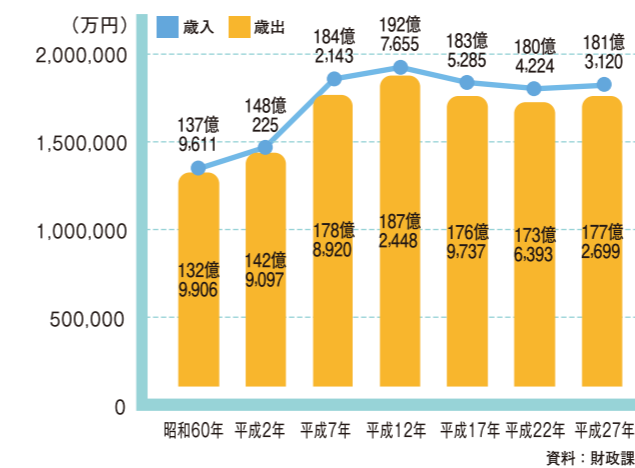
産業別就業者数の推移



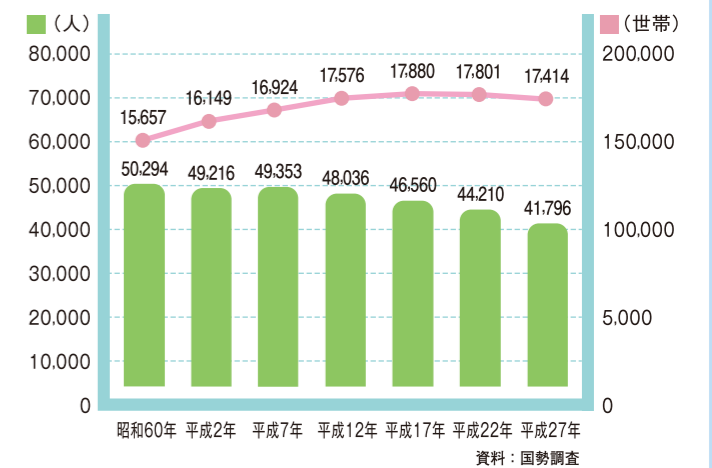
下水道普及率の推移



一般会計決算状況の推移



人口と世帯の推移



中間市を元気にする4つの柱



1. 移住定住編

住宅補助金制度

● 中古住宅購入補助金制度

補助金額 中古住宅1軒に対し1回 **25万円**

市外に居住する子育て世帯や若年世帯が移住・定住を目的に、空き家バンクを利用して中古住宅を購入した場合に補助を受けることができます。

● 中古住宅リフォーム補助金制度

補助金額 中古住宅1軒に対し1回 **30万円**

市外に居住する子育て世帯や若年世帯で、空き家バンクに登録された中古住宅に40万円以上のリフォーム工事を行った場合、工事費用の一部を助成します。

● 中古住宅購入後に解体し新築するための補助金制度

補助金額 新築住宅1軒に対し1回 **150万円**

市外に居住する子育て世帯や若年世帯が移住・定住を目的に空き家バンク物件を購入し、解体/新築する場合、補助金の対象となります。

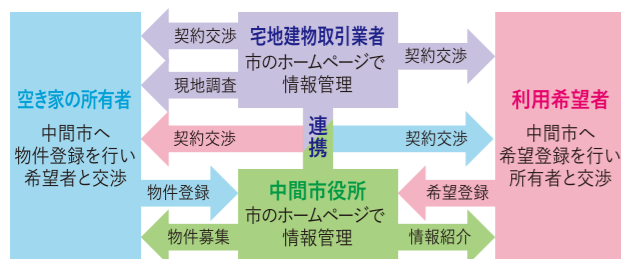
● 住み替え補助金制度

補助金額 申請者1人につき1回限り **5万円**

高齢者が、所有する持家を売却や賃貸のために中間市空き家バンクに登録し、市内の高齢者住宅や福祉施設等または中間市空き家バンクに登録された空き家への住み替えを行う場合、助成を受けることができます。

空き家バンク制度

市内の空き家を有効活用して移住・定住希望者をサポートします。市役所窓口や中間市ホームページなどで、賃貸・売買を希望する空き家物件の情報を校区ごとに紹介しています。



詳しくは、中間市ホームページ
 ▶ 暮らしのガイド ▶ 住宅政策
 携帯・スマートフォンの方はこちら→



2. 子育て編

● 保育園・幼稚園が充実

中間市内には6つの保育園(うち市立1園)と7つの私立幼稚園があります。働くお母さんも安心してお子さんを預けられる環境が充実しています。

● 保育料の負担を大幅に軽減

中間市の保育料は国の基準より約30%安く、その軽減率は県内トップクラス。働くパパ・ママも安心して子どもを産み育てることができます。

● 少人数できめ細かな教育環境

少人数学級を導入しており、児童一人ひとりに合ったきめ細かな対応を心がけています。

● 中学生まで医療費を助成

小学校6年生までの子どもの医療費(外来・入院)、中学生までの医療費(入院)を助成している(3歳未満は自己負担なし)ので、ケガや病気が多い子育て期でも安心して受診することができます。

このほかにも、出産前後の妊産婦や乳幼児への支援。また、英語教育に力を入れるなど子育てをしやすい環境づくりを行っています。

3. 創業支援編

中間市商工会議所が開催する「創業スクール」を受講したことを条件に、新規創業に必要な経費の一部を支援します。最大50万円を限度に、事業所の開設に要する新設・改装工事費の50%を補助金として支給します。

4. 観光事業編

平成27年にユネスコ世界文化遺産に登録された「遠賀川水源地ポンプ室」がある中間市。新しい名所を中心に、さまざまな観光事業に取り組んでいます。

● 遠賀川水源地ポンプ室

1910年に操業を開始し、100年以上が経った今も現役で稼働し続ける施設です。八幡製鐵所は事業を拡張する際、鉄の製造に必要な工業用水を、約12km離れた遠賀川に求めました。今も残る当時の最新鋭の技術のほか、明治時代を象徴する煉瓦造りの建物も評価されて登録されたものです。

● フットパス

地域に昔からあるありのままの自然や風景を楽しみながら思い思いに歩くこと。中間市には平成29年4月現在5つのコースがあり、さまざまなコンセプトでツアーを開催しています。ポンプ室はもちろん、かつて産炭地だった古き良き時代を懐かしんだり、日常の喧騒を忘れさせてくれるのどかな田園を散策したりできます。

● なかまブランド

中間市に新たな特産品を、と始まったなかまブランド。市内で生産・製造された食品などを登録し、シティブロモーションや観光客向けのお土産などの一翼を担っています。また、なかまブランドへの登録を目指した新しい商品開発も進んでいます。

[P1・2参照]

中間市のあゆみ

江戸時代

- 1621(元和7)年
 - 堀川掘削工事が始まる
- 1765(宝暦12)年
 - 中間唐戸完成

明治時代

- 1874(明治7)年
 - 中間市で最初の小学校である底井野小学校、中間小学校創立
- 1889(明治22)年
 - 町村制施行により、長津村(中間、岩瀬)と底井野村(垣生、底井野、中底井野、下大隈)が誕生
- 1891(明治24)年
 - 筑豊本線の若松・直方向が開通
- 1911(明治44)年
 - 香月線旅客営業開始

大正時代

- 1919(大正8)年
 - 遠賀川木橋架設
- 1922(大正11)年
 - 町制施行で長津村が長津町となる
- 1924(大正13)年
 - 長津町が町名を中間町に改称



昭和時代

- 1931(昭和6)年
 - 鉄筋コンクリート造2代目遠賀橋架設
- 1932(昭和7)年
 - 中間町と底井野村が合併
- 1933(昭和8)年
 - 中間市で最初の中学校である中間中学校創立
- 1934(昭和9)年
 - 中間トンネルが開通
- 1953(昭和28)年
 - 大水害で遠賀川堤防決壊
- 1954(昭和29)年
 - 中間北小学校創立
 - 垣生公園開園

昭和時代

- 1958(昭和33)年
 - 市制施行により中間市誕生
- 1964(昭和39)年
 - 東京五輪の聖火が中間市を通過
 - 中間市消防署設置
- 1965(昭和40)年
 - 中間市立病院設置
- 1966(昭和41)年
 - 第1回市民体育祭開催
- 1969(昭和44)年
 - 現市庁舎落成
- 1978(昭和53)年
 - 市営野球場完成
- 1979(昭和54)年
 - 第1回やっちゃん祭開催
- 1983(昭和58)年
 - 県立中間高校創立
 - 第1回筑前中間川まつり開催
- 1987(昭和62)年
 - 市民図書館開館
- 1988(昭和63)年
 - 中間大橋開通



平成時代

- 1989(平成元年)
 - 屋根のない博物館竣工
- 1991(平成3)年
 - 新消防庁舎完成
- 1996(平成8)年
 - なかまハーモニーホール完成
- 2001(平成13)年
 - ハビネスなかま完成
 - 筑豊本線の電化により「福北ゆたか線」開通
- 2004(平成16)年
 - 国民文化祭が福岡県で開催、中間市ではジャズダンスフェスティバルを開催
- 2005(平成17)年
 - ねんりんピックふくおか2005が福岡県で開催、中間市では囲碁大会を開催
- 2006(平成18)年
 - 3代目遠賀橋架設

平成時代

- 2008(平成20)年
 - 市制施行50周年を迎え、一般公募により公式キャラクター「なかっば」誕生
- 2010(平成22)年
 - 市民体育祭がなかまスポーツフェスタとしてリニューアル
- 2011(平成23)年
 - 地域交流センターと西部出張所、新鮮市場さくら館が完成
- 2012(平成24)年
 - 中間唐戸築造250年記念「堀川サミット」開催
 - 市営野球場リニューアル
 - 市民図書館リニューアル
- 2013(平成25)年
 - 大相撲の武蔵川部屋が中間市に部屋を構え、記念した小学生相撲大会が開催
 - 垣生公園を大規模改修し、バリアフリー化
- 2014(平成26)年
 - ギラヴァンツ北九州とフレンドリータウン協定締結
- 2015(平成27)年
 - 空き家バンク制度開始
 - 遠賀川水源地ポンプ室がユネスコ世界文化遺産に登録



- コミュニティバス発足
- 2016(平成28)年
 - 女優の大野いとさんが中間市PR大使に就任
 - 高倉健・仰木彬展開催

